いわみ病院

だより

2026 年秋号（10・11・12 月）

特集

◇すこやかセンターまつりについて

◇感染症から自分と大切な人を守ろう！

◇予防接種のお知らせ（インフルエンザ、コロナウイルス）

◇赤十字ボランティアについて

◇看護部通信

◇続還暦ナース②

◇退職にあたり

◇編集後記



すこやかセンターまつりが開催されました！

１０月２４日（土）に岩美病院ひまわりホールにて「すこやかセンターまつり」が開催されました。たくさんの方にご来場いただき、大盛況でした。この日のイベント内容を簡単ではありますが紹介いたします。









○体験イベント

・看護師・薬剤師お仕事体験
・カーリング、ストラックアウト
・オレンジカフェ
・バルーンアート
・eースポーツ体験
・チョコレート風ケーキ作り
等

病院で働いている看護師や薬剤師の日頃のお仕事を体験することで、仕事の大切さと楽しさを学んでいただけたと思います。また、e-スポーツ体験、ボッチャ大会等は大人も子供も参加できるため大盛況でした。







○相談イベント

- 健康相談、歯科相談
- 動脈硬化検査、老廃物の検査
- 立ち上がりテスト
- ストレスチェック
- 食育キャンペーン、栄養相談
- 認知症タッチパネル
- 体組成計

等

日頃から気になっていることを医師や歯科医師、検査技師など専門家に気軽に相談できるコーナーでした。普段はなかなか測定することができない体脂肪測定や唾液アミラーゼによるストレスチェックなどもあり、ご自身の健康について考えるきっかけとなったと思います。





○展示イベント

・福祉サービス事業所および関連施設の紹介

福祉サービス事業所および関連団体として、『きなんせこども館』、『からふる』、『心身障がい児（者）育成会・ぴゅあふれんず』などの紹介を展示しました。福祉サービスや事業所について身近に感じていただけたのではないかと思います。



○販売イベント

・新鮮野菜、スイーツ、ハーブティー、染物、小物等の販売

たきさん温泉、菓子工房はまなす、おあしす、岩美かたつむり工房による新鮮野菜や小物の販売があり大盛況でした。



○検診イベント

・乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診

事前に申し込みをいただいた方を対象に乳がん、肺がん検診を実施いたしました。平日はなかなか病院にお越しいただけない方に、少しでも検診を受けていただける機会になったと思います。



おまけ　icoca（いこか）の体験



感染症から自分と大切な人を守ろう！

少しずつ季節が変わり、これから様々な感染症が流行しやすい時期になります。
「感染症対策」と聞くと少し難しく感じるかもしれませんが、毎日のちょっとした心がけが、
自分自身や家族、周りの人を感染症から守ることにつながります。

感染症を予防する生活習慣

①手洗い

指や爪の間、手首までしっかりと心がけましょう！

②咳エチケット

咳やくしゃみが出る時はマスクを着用しましょう

③こまめな換気

部屋の空気がこもらないように、定期的に換気を

人が集まる場所では特に意識しましょう

④身の回りの清潔

ドアノブ、手すり、テーブルなど皆が触る場所は清潔に保ちましょう

⑤体調を整える

しっかり休む　バランスよく食べる　疲れを溜めない

発熱、咳、喉の痛みなど、体調が悪いときは無理をしないことも大切です

感染予防の４つのポイント

手洗い



咳エチケット



換気



清潔

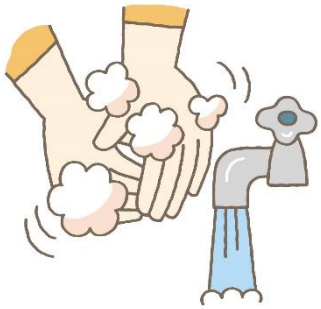


まずは“手洗い“から！

私たちの手は、知らないうちにさまざまな場所に触れています。手についたウイルスや細菌が、口や鼻、目などから体の中に入ることで感染することもあります。

そんな感染症予防の基本となるのが「手洗い」です！
特に、次のようなタイミングで手洗いを心がけましょう。

☑外出先から帰った時
☑食事の前
☑トイレの後
☑咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
☑調理をする前



手のひらだけでなく、指先・指の間・親指・手の甲・手首も忘れずに洗いましょう♪



手洗いのポイント

① まずは流水で手を流しましょう。
② 石鹸を付けて手のひらや手の甲をしっかり洗いましょう。
③ 指先・指の間・親指など洗い残しやすい部分も丁寧に！
④ 流水で石鹸をしっかり流しましょう。
⑤ 清潔なタオルやペーパータオルで水分をよく拭き取りましょう。



いつもより少し丁寧に洗うことが、感染症予防につながります！

体調がすぐれないときは・・・

「少しくらいなら大丈夫。」と思って無理をしていませんか？
発熱や咳、のどの痛みなど、体調がすぐれないときは、無理をせずゆっくり休むことも大切です。
また、くしゃみや咳があるときは、マスクを着用するなどの「咳エチケット」も心がけましょう。

できることから始めましょう！



感染症予防は特別なことばかりではありません。

「こまめに手を洗う。」

「体調が悪いときは無理をしない。」

「周りの人への配慮を忘れない。」

毎日のちょっとした心がけが、自分だけでなく大切な家族や周りの人を守ることにつながります。これからも一人ひとりができる感染症対策を続けていきましょう。

予防接種のお知らせ

～感染症から自分と大切な人を守るために～

　予防接種は感染症にかかることを予防し、かかった場合でも重症化を防ぐことができます。自分自身の健康を守ることはもちろん、家族や周りの人を感染症から守ることにもつながります。

　今年も岩美病院ではインフルエンザとコロナウイルスの予防接種を令和8年 10 月 1 日～令和 9 年 1 月 29 日の期間で行います。



実施期間（一般）

10 月1日～10 月 30 日:　予約制　14:00～15:30

11 月 2 日～12 月 25 日:　予約不要　9:00～10:30/14:00～15:30

※月曜日の午前、第 4 金曜日の午前は接種なし

1 月 4 日～1 月 29 日:予約制　14:00～15:30

※診療の都合により、急遽中止となる場合があります。ご了承ください。

〇インフルエンザ

満65歳以上の高齢者、もしくは満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能低下があり日常生活が極度に制限される方には助成があります。

詳しくは岩美町役場健康福祉課（電話　0857-73-1322）にお問い合わせください。

助成対象でない方は1回あたり 4,340 円の自己負担となります。

〇コロナウイルス

満65歳以上の方、もしくは満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能低下があり日常生活が極度に制限される方には、助成があります。

詳しくは岩美町役場健康福祉課（電話　0857-73-1322）にお問い合わせください。

助成でない方は1回あたり14,840円の自己負担となります。

当院で接種するワクチンは、昨年と同じファイザー製ワクチンとなります。

インフルエンザワクチンとの同時接種が可能です。

ワクチンがみなさまの命を守ります。

日本感染症学会などは重症化・死亡のリスクはインフルエンザを上回り、ワクチン接種による予防が重要であるとして高齢者に対してコロナワクチンの接種を強く推奨するとの見解も示されています。接種のご検討をよろしくお願いいたします。

実施期間（小児）
10 月 1 日～12 月 25 日：月・水・金　8:45～10:30/14:00～16:00
火・木　8:45～10:30
1 月 4 日～1 月 29 日：月・水・金　8:45～10:30/14:00～16:00
※診療の都合により、急遽中止となる場合があります。ご了承ください。

注射タイプの接種回数は生後6ヶ月から12 歳までは2 回、13 歳以上の方は1 回です。
小児で2 回接種する場合は2～4 週の接種間隔で接種することとなっています。

町民の方は、助成があり1回500円で接種可能です。
13 歳以上で受験などの理由で、特例で2 回注射タイプで接種を希望される場合、2回目は全額自費4,340円となりますが、1～4 週の接種間隔で接種することが可能です。

また当院では2歳以上の小児の方は1回のみ両方の鼻に噴霧するタイプのワクチンであるフルミストを導入し、推奨しております。
1シーズンに1回のみ両方の鼻に0.1mlずつ薬液を噴霧するだけです。
注射するタイプではないため痛みがなく、効果は従来の注射タイプと変わりません。
メリットは全く痛くないことと1回のみの投与でよいことです。
岩美町ではフルミストも季節性インフルエンザ予防接種助成対象です。
町民の方は1回500円の負担のみで接種可能です。
ご理解いただいたうえで、ご予約をお願いいたします。

接種をご希望の方は電話か病院窓口でご予約をお願いいたします。
岩美病院代表電話 0857-73-1421

各種予防接種をご検討の方へ

「自分は元気だから大丈夫」と思っていても、感染症はだれにでも起こる可能性があります。
予防接種について気になることや不安なことがある場合は、お気軽に医師・看護師にご相談ください。
❀予防接種で安心できる毎日を。
自分のために。大切な人のために。できる感染症対策を始めましょう。



岩美町赤十字奉仕団の皆さま　いつもありがとうございます

令和8年6月1日から、赤十字奉仕団の皆さまが、正面玄関前でボランティア活動をしてくださっています。毎週月曜日の8時30分～10時まで、受付案内や車椅子の乗り降りの介助、院外薬局への道案内など、来院者のちょっとした困りごとに対応していただいております。

このきっかけは、令和7年に行った町民の皆さまとの意見交換会でした。「（高齢のご両親を岩美病院へ連れてこられた際）、正面玄関で車椅子に乗せて受け付け近くまで連れて行くと、その間にバスの運行を止めてしまうことがあり、心苦しい。ハートフル駐車場が増やせないか」といったご意見をいただきました。ハートフル駐車場の増設は困難でしたが、車椅子の乗り降りについて支援ができればと考え、赤十字奉仕団さんにお願したところです。コロナ禍前にもボランティア活動をしてくださっていたこともあり、快諾いただきました。本当にありがとうございます。

岩美病院をご利用の皆様、来院された時、なにかお困りごとがありましたら、赤十字奉仕団の皆さまや受付職員にどうぞ遠慮なくお声かけください。



ホームページに看護部通信を載せています

看護部通信　2026年8月

新人看護師研修

6月13日（土）院外研修　見て！聴いて！触って！
　　みんなで学ぼう　フィジカルアセスメント
7月1日（水）医療安全研修2　転倒転落
8月5日（水）夜勤オリエンテーション。。。



7月31日（金）学会・研修報告会開催





今年度から、学会・研修会での学びを看護部のスタッフに伝達する会を始めました。
第1回は、日本看護倫理学会報告です。
〇患者からの暴力・ハラスメントを倫理的側面から考える
　　～看護師がいきいき働くために～
〇意思決定支援ツールの紹介　など、看護倫理は、日頃のケアの中にたくさん課題があり、身近なものであることが報告されました。



種が落ちていたようで、タイルの隙間から朝顔がのびてきました。
頑張れ！！

嬉しかったで賞・素敵で賞

〇〇してもらい嬉しかったことや、素敵な人や場面のエピソードを募集し、その中から、嬉しかったで賞・素敵で賞を選出しました。
看護部の今年度からの取り組みです。





看護部通信は不定期ですが、看護部の話題をホームページに載せています。新人看護師の様子や、看護部の取り組みなどを写真と共に紹介し、看護学生さんや就活中の皆さんに岩美病院を知っていただく機会としています。ぜひ一度ホームページの看護部のページをのぞいてみてください。

新連載　続・還暦ナース(2)

みなさん、こんにちは　　看護部の黒阪です

続・還暦ナース第２回目は、ばばちゃんエクレアの話。

岩美町の名産の一つに、深海魚ばばちゃん（たなかげんげというお魚）があります。ばばちゃんは、とても愛くるしい顔をしていますが、この顔に似せた【ばばちゃんエクレア】というお菓子が、岩美町内のケーキ屋さんで販売されていたことをご存じでしょうか？私は、岩美病院に就任してすぐにスタッフに教えてもらい、素朴な味わいとなんともいえない表情がすごく気に入ってしまいました。それからというもの、看護学生などに岩美病院を紹介する時には、必ずこのエクレアも紹介していました。岩美病院に見学に来られたら、このばばちゃんエクレアもぜひ食べてみて！と写真で見てもらうと、会場から「かわいい」という声が聞こえていました。

残念ながら、このケーキ屋さん、今は閉店してしまい、もうばばちゃんエクレアを買うことはできません。岩美病院、岩美町の宣伝に一役かってくださったことに感謝したいと思います。



ばばちゃん（たなかげんげ）

ばばちゃんエクレア



退職にあたり

このたび、令和 8 年 10 月 31 日をもって岩美病院の事業管理者の職を退くこととなりました。これまでの 6 年 7 か月で大変多くの皆様、町民の皆様に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

私の着任以降、新型コロナウイルス感染症への対応（入院受け入れ）や介護療養病床の医療療養病床への切り替え、病床数の縮小（110 床⇒99 床)、院内処方から院外処方への切り替えなど、利用者の皆様に大きく影響するような改革を進めさせていただきました。

令和 5 年 5 月以降のコロナ禍後は外来患者数が減少し続けるとともに、入院患者もコロナ禍前までの人数に回復していない中で、電気や燃料、食糧など諸々の物価が高騰し、経営状態は非常に苦しい状況が続いております。

そこで、11 月以降には総務省の経営強化アドバイザー事業を活用し、入院医療を中心に経営改善を図ることとしました。

私は 10 月末で去りますが、病院スタッフ全員が同じ方向を向き、取り組みを継続・強化することで経営的な回復を図ることが可能と考えております。

人口が減少し、物価、人件費などが上昇し続けている現状ではありますが、町民そして関係者の皆様には是非ともこれからも岩美病院をご利用いただき、支えていただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

なお、後任には、吉田院長が岩美病院事業管理者代理者に就任いたしました。

岩美病院事業管理者　小谷

編集後記

今月号はすこやかセンターまつり、感染症予防等について取り上げました。今年もすこやかセンターまつりに子供から大人までたくさんの方にお越しいただきありがとうございました。来年も健康に役立つようなイベントを考えていきたいと思っております。

これから寒さが厳しくなり、感染症の流行が心配となる季節になってきます。どうぞお体に気をつけて、よいお年をお迎えください。今年も「いわみ病院だより」をご覧いただきありがとうございました。



（相見、田中、黒阪、木下）